

# — 第8回 (11月) 定例会 —

## 桧木内地区の大雨災害への義援金全国各地から支援!

令和7年は、市制20周年の記念すべき年でありましたが、8月の大雨災害やクマの人里への大量出沒による人身被害など災害対応に追われた1年でもありました。令和8年は、全ての市民の皆さまが幸福をたくさん感じられる1年になるよう市議会も全力で邁進してまいります。

さて、令和7年最後となる第8回定例会が、11月28日から12月19日まで22日間の会期で開催され、専決処分関係1件、条例関係10件、予算関係17件、その他2件、議員提出議案2件の計32件が審議され、すべての議案が可決されました。

## 議員提出議案(第5号・第6号)2件共可決される

### 【第5号】仙北市議会委員会条例の改正

令和8年4月の改選から議員定数が16から15に減少することに伴い、常任委員会を再編する条例改正です。

改正前	改正後
①総務文教常任委員会 6人	①総務産業常任委員会 8人
②市民福祉常任委員会 5人	②教育厚生常任委員会 7人
③産業建設常任委員会 5人	
◆予算常任委員会 15人	◆予算常任委員会 14人

### 【第6号】ハラスメント実態調査特別委員会の設置

8月の記録的大雨で被災した上桧木内地区の避難所で自主的にボランティアに参加した仙北市議会議員が市や社協の職員に対し、パワハラ的な言動をしたとして、議長が注意したとの報告を受けた。しかし、どのような言動かなどの事実関係が確認されていないことから、実態を調査する特別委員会を設置することが可決されました。

- ◆委員長 田口 寿宜議員
- ◆副委員長 荒木田俊一議員
- 他6名の 全8名の特別委員会

### 公用車カーナビのNHK受信料 46台11年分支払い

- ・公用車のカーナビはテレビ受信機能があれば、NHK受信料が発生するが、仙北市はこれまで支払っていなかった。
- ・秋田県での未払い報道により仙北市も未払いに気づいた。

対象車 46台  
未払い額 262万3千円(平成26年～令和6年分)

- ・今年度以降、テレビ受信が可能な車は市長車、副市長車、議長車の3台のみとした。

### 角館榊細工伝承館の物販・喫茶の使用料減額

- ・物販→総売上の100分の6.18を3.5に改正
- ・喫茶→総売上の100分の7.21を3.5に改正

#### 【質疑応答】

**質問** 他の業者の参入も見込める好立地で、使用料を減額した公平性と透明性に疑問を感じる。

**答弁** 経費節減や販促に努力しており、伝統工芸、観光振興の公益性、他施設事例等を総合的に判断した。

**質問** そもそも、この使用料の仕組みが理解できない。

**答弁** 物販、喫茶の業者は双方とも納得している。

## 議決結果/議員賛否 令和7年 第8回 仙北市議会定例会(招集日:11月28日 最終日:12月19日)

凡例:賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席 除→除斥(議長は法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	件名	議決月日	議決結果	蒼生会					せん新成く		公明党	共産党	無会派		
				小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	青柳宗五郎	小田島広仁	中村和彦	西宮三春	熊谷一夫	平岡裕子	荒木田俊一
議案第132号	令和7年度仙北市一般会計補正予算(第13号)	12/19	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛
請願第2号	仙北市社会福祉協議会への財政支援についての請願書	12/19	不採択	反	反	反	賛	除	反	反	反	反	反	賛	反
"議員提出議案第6号"	ハラスメント実態調査特別委員会の設置に関する決議	12/19	可決	全会一致						除	全会一致				

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

# 令和7年度 一般会計補正額11億8,960万7千円を可決 累計294億6,010万1千円に

## 子育て支援拡充等の補正予算可決（おむつ無償化&子ども2万円支給）

### 令和7年度 一般会計補正予算(第11号・第12号・第13号・第14号)の主な事業

有害鳥獣駆除事業費	130万円	クマ出没時における現地派遣職員の防護装備品の購入（各市民センターへ）
有害鳥獣誘引樹木伐採補助金	300万円	柿や栗の樹木を伐採する補助金（伐採費と運搬処理費それぞれ2万5千円上限）
児童派遣費補助金	104万円	角館小学校マーチングバンド全国大会出場への補助金
生徒派遣費補助金	202万円	角館中学校男子駅伝部及び男子剣道部の全国大会出場への補助金
車両維持管理費	164万円	公用車のカーナビに係るNHK受信料（市長部局 27 台分）
埋蔵文化財調査事業費	△3,424万円	田沢湖ハーブ園周辺の試掘調査を市職員が直轄で実施したことなどによる調査委託料等の減額
保育所等おむつ無償化事業費	127万円	認可保育施設の2歳児までが使用する紙おむつ無償化の委託料
物価高対応子育て応援手当支給事業費	4,763万円	高校生年代までの子ども1人当たり2万円を年度内に支給
物価高対応重点支援交付金支給事業費	2,397万円	住民税非課税世帯に6,100円の灯油購入補助金を2月中に支給
障害者支援施設等物価高対策事業費	228万円	障害者支援施設に光熱水費、食材費の支援金を2月中に支給
介護保険施設等物価高対策事業費	2,117万円	介護保険施設に光熱水費、食材費の支援金を2月中に支給
保育所等給食費価格高騰対策事業費	179万円	認定こども園に食材費の支援金を2月中に支給

### 保育園・認定こども園でのおむつが無料に!

これまで、各家庭で名前を記入して、持参していた紙おむつが、これからの準備が順調であれば、2月から、それぞれの保育施設で紙おむつを持参しなくても、無料で使用可能となります。

- ◆仙北市内に住所がある0～2歳児が対象
- ◆紙おむつのメーカーは1種類のみ
- ◆肌に合わない場合は持参（支援は検討中）
- ◆サイズは自由に選べる
- ◆対象者はクラスで区切る
- ◆在宅での子育てにはおむつ支援はない

### 国が子育て世帯に物価高支援(1人2万円支給)

国の経済対策の柱とした「物価高対応」を盛り込んだ2025年度補正予算が12月16日に国会で成立したことから、仙北市の11月定例会最終日（12/19）に子ども1人当たり2万円支給などの追加補正予算（第14号）が提案され、全会一致で可決されました。

- ◆令和7年9月に児童手当が支給された子ども&令和8年3月31日までに出生した子どもが対象（約2,260人を予定）
- ◆年度内の支給を目指して準備中
- ◆全額国が負担（国庫補助金）

### 国の物価高対応交付金を活用した商品券支給

国の経済対策の柱である「物価高対応」として、全国の自治体が自由に使える「重点支援地方交付金」が仙北市にも交付されました。

### 仙北市の「重点支援地方交付金」の活用予定

- 【第1弾】 住民税非課税世帯に1世帯6,100円の灯油購入補助金を支給します。（2月を予定）
- 【第2弾】 市民全員に商品券(1万5千円分)を支給する予定です。
- 【第3弾】 中学生及び小学生の給食費無償化を検討中です。

— 令和8年度から小学生・中学生共に給食費が無料になる予定 —

# — 第7回臨時会 (11/6開催) —

10月19日実施の仙北市長選挙で再選された田口知明市長の2期目の市政が10月30日からスタートしました。11月6日には、田口市長の2期目として初の議会（臨時）が開催され、8月の記録的大雨による災害復旧費やふるさと納税の寄付金見込みを増額するなどの令和7年度一般会計補正予算（第10号）や温泉事業会計補正予算（第1号）などが審議され、すべての議案が可決されました。

## 令和7年度 一般会計補正額13億9,496万3千円を可決 累計282億7,049万4千円に ふるさと納税寄付金 35 億円を見込む！！（お米の返礼品が大人気）

### 令和7年度一般会計補正予算(第10号)の主な事業

ふるさと仙北応援基金積立金	8億円	ふるさと納税の寄付金の増額を見込む（今年度合計35億円）
ふるさと納税仙北魅力発信事業費	4億円	ふるさと納税の返礼品等の事業費
大雨災害復旧事業費	912万円	大雨災害により被害を受けた方への義援金配分に係る事業費
道路維持補修費	583万円	田沢湖卒田舟山地下道の排水ポンプの老朽取替え
農業用施設災害復旧事業費	1億322万円	大雨災害により被害を受けた農地・農業用施設災害復旧補助金
現年補助災害復旧事業費	3,300万円	大雨災害により被害を受けた大地田農村公園災害復旧工事費
公共土木施設災害復旧事業費	329万円	大雨災害により被害を受けた河川、橋りょうの復旧工事費
総務施設災害復旧事業費	4,049万円	大雨災害により被害を受けた紙風船館復旧工事費

### 田口知明市長 2期目の所信表明

10月の選挙で市民の皆さまから再び市長にお選びいただき、10月30日より2期目の市政をスタートさせていただいた。

2期目も人口減少をはじめ、急激な出生数減少による少子化への対策や、市立病院の経営改善、豪雨や火山噴火などの自然災害への備えや、老朽化した公共施設と共に増加している空き家への対応強化、より一層の産業振興の実現など、仙北市が直面している課題は山積しているが、「逃げない」「隠さない」「嘘をつかない」という市長としての決意をもって課題に向き合い、改善、解決していく所存である。

### 高久議員失職に伴う 議会運営委員の指名

高久昭二氏が10月の市長選出馬により自動失職したことに伴い、空席となった議会運営委員は、議長の指名により、小田島広仁議員が選任されました。

### 令和7年最後の議会 第8回(11月)定例会を振り返って

令和7年の最後となる「第8回定例会」が12月19日に閉会しました。特筆すべきは、一般質問における質問項目です。なんと、8人の質問者で7人が今年度廃止された防災無線関連で、6人がクマ対策関連を取り上げたことです。これほど質問が集中したことは初めてです！

#### 今後のクマ対策について

- ◆クマ捕獲用の箱わなは、現在39基保有しているが来年度に10基増設して49基保有予定である。
- ◆ガバメントハンター（公務員ハンター）は、来年度、県に3名要望している。
- ◆有害鳥獣被害対策実施隊員（猟友会員）は、田沢湖地区41名、西木地区45名、角館地区17名の合計103名である。
- ◆有害鳥獣被害対策実施隊員（猟友会員）の各種報酬の増額を来年度行う予定である。

#### 防災無線の再運用は検討していない！

- ◆旧防災行政無線はデジタル化が必要で、その費用に21億6千万必要であることから、廃止して現行の「@せんぼく」にすることを議会で議決している。再運用は検討していない。
- ◆7時、12時、17時のチャイムの要望には、現行の「@せんぼく」の戸別受信機でチャイムを鳴らすことが出来るので検討する。
- ◆現行の「@せんぼく」の戸別受信機の貸与条件を緩和しているので、総合防災課に相談していただきたい。